

平成27年3月27日

豊田市における 地域包括ケアモデル事業の取組

【単年度モデル】

豊田市市民福祉部

総務課・介護保険課・地域福祉課

モデル地区の概要

モデル地区 梅坪台中学校区

(豊田市街地から北へ2キロの位置)

* 面積：8.25km²

* 人口：26,290人(H26.3.1現在)

* 高齢者数：3,544人(H26.3.1現在)

* 高齢化率：13.5%

* 認定者数：436人(H26.2.28現在)

内訳：要支援者113人、要介護者323人

* 認定率：12.3%

モデル地区の概要

《社会資源の状況等》

診療所 10
歯科診療所 11
薬局 16
病院 2
訪問看護ステーション 3
居宅介護事業所 5
訪問看護事業所 3
特別養護老人ホーム 1
老人保健施設 1
地域包括支援センター 1

【住民組織】

自治区 9自治区
民生委員児童委員 23人
主任児童委員 2人
老人クラブ 8クラブ、1,045人

【二次予防(平成25年度把握分)】

対象者:166人(想定)

教室参加者数14人(想定)

教室内容:①運動やろまい教室

②噛んで栄養ばっちり教室

③はつらつクラブ

26年度の主な取組

<関係機関のネットワーク化①>

関係機関連絡会議(1)

豊田市高齢者支援ネットワーク会議

地域を中心とした総合的な支援体制の構築をめざし、保健・医療・福祉・介護の多様な関係機関及び地域ケア会議等の関係機関が連携、情報交換、協議、市への提言を行う。

- 開催：平成26年8月27日、平成27年2月4日
- 参加者：医師会、歯科医師会、薬剤師会、MSW、自治区長、民生委員、老人クラブ、介護サービス事業者、弁護士、警察署、地域自立支援協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ささえあいネット登録機関等

26年度の主な取組

<関係機関のネットワーク化②>

関係機関連絡会議(2)

ブロック地域ケア会議(西部地区)

地域包括支援センター単位で実施する地域ケア会議で抽出された地域課題を市内5ブロックに分かれて検討し、解決を図ることで、地域課題の共通理解や他地域での活動を知り、問題解決につなげていく。

●開催：平成26年12月24日

●参加者：医師、自治区長、民生委員、老人クラブ、
介護サービス事業所、地域包括支援センター等

26年度の主な取組

<関係機関のネットワーク化③>

地域包括ケア関係者の研修

地域包括支援センター職員の資質向上研修において
「地域ケア会議の運営」と「地域包括ケアシステム」について
講義と意見交換を実施

- 主催：基幹包括支援センター
- 対象：地域包括支援センター
- 開催：1回目 平成26年9月16日
2回目 平成27年1月27日

26年度の成果・課題

<関係機関のネットワーク化④>

関係機関連絡会議(1)

豊田市高齢者支援ネットワーク会議

○成果

1回目:

- ・豊田市の高齢者取り巻く現状等について共有理解
- ・「高齢者の見守り」、「認知症」に関する問題をもとに意見交換
- ・それぞれの団体等の立場における課題や問題点を紹介

2回目:

- ・「顔の見える関係づくり」「地域で見守る体制づくり」を行うために、それぞれの立場からの連携についての協議

○課題

地域を中心とした総合的な支援体制の構築を目指し、集約された意見をいかに市や関係機関の具体的な取組につなげるか議論していく。

26年度の成果・課題

<関係機関のネットワーク化⑤>

関係機関連絡会議(2)

ブロック地域ケア会議(西部地区)

○成果

地域包括支援センター単位で実施する地域ケア会議で抽出された地域課題「ひとり暮らし高齢者の見守り」について、地域課題の共通理解や他地域や西部ブロック内での活動を知る。

○課題

地域活動に参加していない高齢者への支援

26年度の成果・課題

<関係機関のネットワーク化⑥>

地域包括ケア関係者の研修

○成果

1回目:地域包括ケアにおける地域ケア会議の位置づけとその重要性についての理解が深まった。

2回目:「本人・家族の課題 ≠ 支援者側の問題」の気づき
会議と言わず「一緒に考えていきましょう」という声掛け

○課題

- ・1回目の研修後、目立って地域ケア会議の開催数が増えなかった。2回目は事前アンケートで困りごとの解決を図り、持ち寄った事例で地域ケア会議開催までのグループワークを実施。
- ・地域ケア会議数を増やすための継続的な研修の実施。

26年度の取組状況

<医療と介護の連携①>

○実施主体

豊田地域医療センター

13診療科

150床（一般80、回復リハ30、療養40）

救急告示医療機関・二次救急医療機関

豊田市、豊田加茂医師会、豊田加茂歯科医師会
で設立した公設民営の医療機関

豊田地域医療センターを連携拠点として、在宅医療支援体制を構築

26年度の取組状況

<医療と介護の連携②>

在宅医療推進委員会の開催

○豊田地域医療センターを事務局として平成25年に設置

○下部組織として2つの部会を設置

- ・医療機関とケアマネ間等の連携強化検討部会
- ・疾病マネジメント部会

○委員構成

豊田市、豊田加茂医師会、豊田加茂歯科医師会、豊田加茂薬剤師会、豊田厚生病院、基幹包括支援センター、豊田介護サービス機関連絡協議会、豊田地域医療センター(医師、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、豊田市・藤田保健衛生大学地域医療学寄附講座、事務職員)

26年度の取組状況

<医療と介護の連携③>

在宅医療推進委員会の開催状況

○在宅医療推進委員会

- 4/8 年間事業計画について
- 8/26 在宅医療研修プログラム、在宅医療入院制度について
- 11/25 在宅医療における多職種連携の現状について

○医療機関とケアマネ間等の連携強化検討部会

- 4/15 部会年間事業計画について(研修会、勉強会、情報共有システム等)
- 7/29 訪問看護ステーション拠点化、情報共有システムについて
- 10/28 在宅医療の多職種連携の現状について

○疾病マネジメント部会

- 4/22 部会年間事業計画について(診療所医師支援、在宅医療連携マニュアル等)
- 6/24 在宅支援入院制度、がん患者の在宅支援について
- 9/30 在宅支援入院制度、急性期医療機関の退院支援について
- 12/16 在宅支援入院制度、「在宅医療連携の手引き」について

26年度の取組状況

<医療と介護の連携④>

多職種研修①

○訪問看護ステーション同行研修

7~9月上旬 参加者:41名

テーマ:訪問看護師の役割を学ぶ

○訪問看護ステーション同行研修参加者意見交換会

11/19 参加者:19名



26年度の取組状況

<医療と介護の連携⑤>

多職種研修②

○介護支援専門員勉強会

①7/16 参加者:26名

テーマ:訪問看護を上手に利用するためには

②9/2 参加者:40名 9/10 参加者:30名

テーマ:在宅における褥瘡ケア

26年度の取組状況 ＜医療と介護の連携⑥＞

普及啓発①

○在宅医療シンポジウム

12/6 参加者:88名
テーマ:在宅医療を支える
人材育成と連携促進について



第2回 豊田市在宅医療シンポジウム

開催日時 平成26年12月6日(土) 14:00～17:00 (開場 13:30)

開催場所 名鉄トヨタホテル 7階

参加費 無料(先着100名・申込不要)

シンポジウム テーマ「在宅医療を支える人材育成と連携促進について」

「医師会員からみた在宅医療の現場と要となる訪問看護ステーション」
京町クリニック院長(豊田加茂医師会社会福祉専門委員) 平山 眞彦氏

「訪問看護サービスの拠点化と在宅看護供給体制の充実」
一般社団法人全国訪問看護事業協会副会長 上野 桂子氏

「地域包括ケアシステムにおけるETの役割」
東名古屋医師会副会長(医療法人慈誠会 牧医院院長) 牧 健典氏

「在宅医療と家庭医・総合診療専門医の育成」
医療法人博愛会 額田病院家庭医療センター長 大杉 泰弘氏

特別講演 「私が在宅医療から学んだこと」
—老年科医から家庭医へ—
一般社団法人 ライフケアシステム 代表理事
医療法人社団互酬会 水道橋東口クリニック 理事長・院長
辻 枝南雄氏

26年度の取組状況 ＜医療と介護の連携⑦＞

普及啓発②

○家庭で出来る看護（市民向け看護教室）

①8/5 参加者:30名

テーマ:認知症の話

②12/12 参加者:11名

テーマ:「生活の場」の選択



26年度の取組状況

<医療と介護の連携⑧>

普及啓発③

○市民向け「在宅医療リーフレット」作成



取組状況に関する連携機関の感想

<医療と介護の連携⑨>

○連携機関の感想

○医師会

- ・在宅医療を手がけている医師の見える化をしてほしい
- ・在宅医療に取り掛かりやすくするための研修の開催

○歯科医師会

- ・シンポジウムにあるような地域全体の取り組みには、行政の積極的介入が必要

○薬剤師会

- ・個人経営の調剤薬局の在宅医療参入の難しさ

○訪問看護師

- ・訪問看護ステーションの情報集約と情報の公開を検討したい

○ケアマネジャー

- ・医師と連携しやすい環境づくりをすることで今より進むのではないかと
(ケアマネタイム・顔の見える関係)

○歯科衛生士

- ・歯科としてどう活かしていけばいいかが問題

26年度の成果・課題

<医療と介護の連携⑩>

○成果

- 在宅医療支援機能の具体化
 - ・退院支援入院制度の稼働
 - ・研修やイベント等の定期開催
- 関係機関の在宅医療への意識向上

○課題

- 団体、組織としての連携
- 連携のしくみのルール化

今後に向けての対応・取組 ＜関係機関のネットワーク化＞

平成27年度以降の取組

○豊田市高齢者支援ネットワーク会議（関係機関連絡会議）及びブロック地域ケア会議については、平成27年度以降も引き続き開催していく。

○地域ケア会議については、地域包括支援センターで開催回数にばらつきがあることから、全地域包括支援センターで同程度開催できるように研修会を実施していく。

今後に向けての対応、取組 ＜医療と介護の連携＞

平成27年度以降の取組

* 在宅医療支援機能の充実

- 在宅支援入院制度の稼働
- 訪問看護ステーションの大規模化
- 相談窓口の設置

* 豊田地域医療センターの再整備

- 連携拠点としての役割を充実

* 家庭医の養成

- 平成27年4月から総合診療・家庭医療プログラム開始

これからシステム構築に取り組む 市町村に対する提言

○関係機関のネットワーク化

- ・地域ケア会議を多数開催している地域包括支援センターは、問題対応能力が向上。
- ・ブロック会議で事例を紹介することにより、地域住民が活動のヒントを得られる場となる。
- ・ファシリテータの住民活動の評価やアドバイスによって、会議が活性化。

○医療と介護の連携

- ・個々の事業に限らず、行政と医療関係者で懇話する場が信頼関係を構築。
- ・在宅医療は、生活圏域の支援が必須＝行政の役割。

問い合わせ先

豊田市役所

〒471-8501 豊田市西町3-60

◆市民福祉部 介護保険課(第6期計画策定担当)

担当 加藤 電話0565-34-6634

e-mail : kaigohoken@city.toyota.aichi.jp

◆市民福祉部 地域福祉課(関係機関のネットワーク化)

担当 宇佐美 電話0565-34-6984

e-mail : chiikifukushi@city.toyota.aichi.jp

◆市民福祉部 総務課(医療と介護の連携)

担当 福岡 電話0565-34-6706

e-mail : shiminnfukusi-soumu@city.toyota.aichi.jp